

江戸川高等学校 令和5年度 年間授業計画

学年	3	教科	国語	科目	現代文B	単位数	2
使用教科書 (出版社名)	『精選 現代文B』 (東京書籍)			補助教材 (出版社名)	「トータルサポート新国語便覧」(大修館)・「新現代文単語 改訂版」(いっずな書店)・「新版完全征服頻出入試漢字コア2800」(桐原書店)・「共通テスト+センター試験 国語過去問題 総合版」(尚文出版)		

学 期		指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1学期 (26)	前半	須賀敦子「クレールという女」 丸山圭三郎「言語と記号」 問題演習(評論・小説等)	<ul style="list-style-type: none"> ・段落のつながりや言い換え表現等に着目し、筆者の主張を論理的に証明していく文章構成を把握する。 ・様々な言葉についてその意味を的確に把握すると共に、語彙を豊かにする。 ・作品の構造について俯瞰的に見る力を養う。 	定期考査及び提出物、課題、授業に取り組む姿勢等を総合的に評価する。
	後半	長谷川権「平気—正岡子規」 鷺田清一「社会の壊れる時—知性的であるとはどういうことか」 問題演習(評論・小説等)	<ul style="list-style-type: none"> ・難度の高い評論等についても、背景となる事実や語句についての理解を深めながら読み解くと共に、身の周りのものと比較しながら把握していく態度を養う。 ・筆者の主張、問題提起を通じて、今日的な課題について理解を深める。 ・心情表現や比喩表現に着目し、視点人物の言動の意味や心情を理解する。 	
2学期 (28)	前半	梶井基次郎「檸檬」 問題演習(評論・小説等)	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の生き方や考え方を自己の問題としてとらえ、作品の主題について考える。 ・文学の意義を理解して自分自身の読みを深め、鑑賞する力を高める。 	
	後半	問題演習(評論・小説等)	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の適切な読解の上に、自らの考えや感覚を高めたり深めたりしながら、考えたことや感じたことを書いたり話したりする力を養う。 	
3学期 (16)		問題演習(評論・小説等)		

*なお、担当者のそれぞれの工夫や、生徒の理解の進み方等の事情により、必ずしも上記計画のとおり展開するものではありません。

*学期欄に()で記入してある時数は、予定時数です。